

◆ 仏教美術の優品からたどる ◆

企画展「羅漢・役行者・行基 – 山の修行者の系譜 – 」を開催します

堺市博物館では、企画展「羅漢・役行者・行基 – 山の修行者の系譜 – 」を開催します。

仏教の世界では、人里離れた山林は俗塵（ぞくじん）から離れた清らかな地として、仏道修行の場となりました。同企画展では仏教美術の優品を中心に、山林修行に励んだとされる羅漢、役行者（えんのぎょうじゃ）、行基に焦点を当て展示します。なお、令和2年度に個人から寄贈を受け、令和5年度に修理を実施した行基菩薩像（1幅、室町時代）をはじめ、5点を初出品します。

1 展覧会名

羅漢・役行者・行基 – 山の修行者の系譜 –

2 会期等

令和6年11月23日（土・祝）～12月22日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日

3 場所

堺市博物館展示場（堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内）

交通：JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ約500m

南海バス「堺市博物館前」停留所下車 南へ約280m

4 観覧料

一般 200円（160円） / 高校・大学生 100円（70円） / 小・中学生 50円（30円）

※（ ）内は20人以上の団体料金

※堺市在住・在学の小・中学生は無料。堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）

5 無料観覧日

令和6年11月23日（土・祝）、24日（日）を「関西文化の日」として無料でご観覧いただきます。

※「関西文化の日」は、関西広域連合等が主催する事業で、関西2府8県内の美術館・博物館などの文化施設で、11月に無料開放日を設定する取組。

6 展示構成・主な展示資料（資料名・点数・制作時期・所蔵者の順に記載）

第1章 役行者と修行の山

飛鳥時代の伝説的な人物である役行者は、葛城修験や大峯修験を始めたとされます。堺市内のゆかりの仏像・仏画や、葛城修験の霊場・岩湧寺（河内長野市）の仏像を展示します。

【市指定】法起菩薩曼荼羅図	1 幅	室町時代	南区・高倉寺蔵*
木造前鬼像・後鬼像★	各 1 軀	江戸時代	東区・野尻町内会蔵
木造蔵王権現立像	1 軀	平安時代	中区・海岸寺蔵
【国重文】木造大日如来坐像	1 軀	平安時代	河内長野市・岩湧寺蔵*
【市指定】木造愛染明王坐像	1 軀	平安時代	河内長野市・岩湧寺蔵*

第2章 山林修行者としての行基

池や橋の築造など、社会事業で知られる奈良時代の僧・行基について、南北朝～江戸時代に描かれた行基の肖像画 5 点を展示し、山林修行者としての行基のイメージを探ります。

行基菩薩十三歳像★	1 幅	江戸時代	中区・華林寺蔵*
行基菩薩像★	1 幅	江戸時代	西区・塩穴寺蔵*
行基菩薩像（行基講資料）★	1 幅	室町時代	当館蔵（令和 2 年度受贈資料）

第3章 仏弟子・羅漢

釈迦の涅槃後（没後）に仏教を護ることを託された羅漢は、山林などで修行する姿で描かれます。法道寺（南区）と吉祥園寺（貝塚市）の十六羅漢画像全 35 幅に取り囲まれる空間は圧巻です。

【国重文】十六羅漢像	16 幅	南北朝時代	南区・法道寺蔵*
【市指定】釈迦三尊十六羅漢像	19 幅	室町時代	貝塚市・吉祥園寺蔵*

※【国重文】＝国指定重要文化財、【市指定】＝市指定文化財（所蔵者の所在市による）、★＝初出品、

*＝当館寄託資料です。

※詳細は別紙をご覧ください。

7 関連行事（いずれも申込不要・当日先着順）

(1) 学芸講座

日時：12月14日（土）午後2時～午後3時30分

定員：80名

講師：当館学芸員

会場：博物館ホール

参加費：無料（※ただし展示場内への入場は要観覧料）

(2) 展示解説

日時：12月8日（日）、12月21日（土）各日午後2時から（約45分）

定員：各回20名

講師：当館学芸員

会場：展示場企画展コーナー

参加費：無料（※ただし展示場内への入場は要観覧料）

問い合わせ先	担当課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課 電話：072-245-6201 ファックス：072-245-6263
--------	--

別紙 企画展「羅漢・役行者・行基一山の修行者の系譜」主な展示品

木造前鬼像・後鬼像 各1軀 一木造 江戸時代 東区・野尻町内会蔵 初出品



役行者は飛鳥時代の修行者として、大峯修験や葛城修験を始めた
とされる人物です。役行者についてはさまざまな伝説に彩られて
おり、前鬼・後鬼という二匹の鬼を常に従えていたといひます。
大峯講が営まれた地域に伝わる愛らしい二匹です。

※大峯講：大峯修験を信仰する地域の有志による集まり

【国指定重要文化財】

木造大日如来坐像 1軀 一木造 平安時代 河内長野市・岩湧寺蔵



役行者が開いた葛城修験霊場のひとつ、岩湧寺（いわわきじ）は岩湧山
の中腹にあるお寺です。その多宝塔に祀られた大日如来は、一木造によ
る等身大のお姿で、存在感抜群です。

行基菩薩十三歳像 1幅 絹本着色 江戸時代（天保9年／1838） 中区・華林寺蔵 初出品



奈良時代の僧・行基13歳のお姿。木立のなかでの修行の様子でしょうか。
華林寺は行基が15歳で出家する以前である13歳のときに、行基の母の
在所を寺にしたと伝えられます。

【国指定重要文化財】

十六羅漢像 16幅 絹本着色 南北朝時代 南区・法道寺蔵

釈迦の弟子である羅漢たちは、仏教を長く後世に伝えることを託され山林などで修行しているといわれます。不思議な力を持ち、龍や鬼神などをも従えるという羅漢たちの奇妙な日常が、16幅にわたり描かれています。

(左) 16幅のうち、第三尊者

(右) 16幅のうち、第九尊者

